

アートパーク ～みんなゲイジツ化宣言～

7月6日(日)、松戸中央公園で「アートパーク7～みんなゲイジツ化宣言～」(主催/聖徳大学児童学研究所、生涯学習研究所)が開催されました。

今回で7回目となる「アートパーク」は、大学と地域が連携し、公園の新たな活用法や外遊びの重要性を提案してきました。そして今回は、昨年のテーマ「みんな子ども宣言」から一歩進め、非日常的な場(アートな空間、時間)を創造することで交流や学びの場が生まれることをねらいとし、「みんなゲイジツ化宣言」としました。

当日は、梅雨の晴れ間で天候にも恵まれ、1,135名の親子が集まり、公園のさまざまな場所を生かした10のワークショップを一日楽しみました。それぞれのワークショップは、昨年同様、児童学科のゼミ等(大成ゼミ、野上ゼミ、関口ゼミ、小泉ゼミ、北沢先生・保育科有志、永井先生・保育科Ⅱ部有志、美術部)と、地域団体(まつど子育てさぼーと・ハーモニー、松戸まちづくり会議、KEYAKIDS、まつど工房、じゅんぴしつ)が、一部合同チームを組むなど、地域、松戸市、大学事務局らとより一層関係を築きながら企画、運営を行いました。また、昨年の経験者である4年生が「おたすけ隊」となり、アートパーク全体のサポートも行いました。

ワークショップは、段ボールで作った巨大な「きのこロボット(大成ゼミ)」の周りでの絵具遊び、親子の触れ合いをテーマにした「まつどのコックさん(野上ゼミ)」、KEYAKIDSの保育士(本学卒業生)と園児、学生が公園内にギャラリーを作る「まつど Atelier・まつど Museum (保育科有志)」、木を巡るツアーから表現につなげる活動(保育科Ⅱ部有志)、アートと科学で遊ぶ企画(小泉ゼミ)、



「きのこロボット」(大成ゼミ)



「まつどのコックさん」(野上ゼミ)



「まつど Atelier・まつど Museum」(保育科有志/KEYAKIDS)

広い空間を使った「大きな世界(関口ゼミ)」などがありました。美術部は昨年同様、パレードを行いました。

当日は川並弘純学長先生をはじめ多くの先生方に参観していただきました。この場を借りてお礼申し上げます。アートパークは今後も内外の関係を発展させながら、子ども、公園を核に松戸のマンパワーが集結するプロジェクトとして継続していきたいと考えています。

(児童学科 准教授 大成 哲雄)